

10月3日(月) 火事を想定した避難訓練

ジリリリリ！けたたましい非常ベルの音。

火事を想定した避難訓練の始まりです。

非常ベルが鳴ったらすぐに逃げる？いいえ、すぐに逃げてはいけません。校内放送を待って避難開始です。

なぜすぐに逃げてはいけないの？ それは、火元がどこか分からないからです。火元によって避難に使う階段は変わります。

今回は、2階の家庭科室が火事になったと想定して、1年生は教室から運動場へ、その他の学年はひまわり階段や校舎外の非常階段を使って逃げる訓練をしました。

逃げるのにかかった時間は放送終了から計って、3分55秒。

「お・は・し・も・て」の約束を守って落ち着いて素早く行動することができました。



避難している児童の様子。

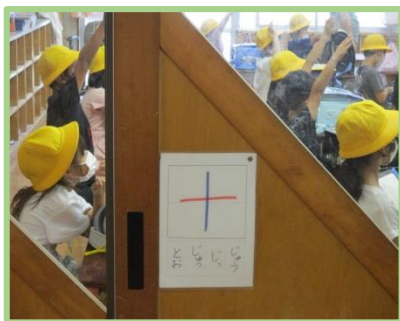
プライバシー保護のため、図の鮮明度を低くしています。ご了承ください。

10月4日(火) 漢字の学習

小学生が6年間で習う漢字は、1026字あります。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
字数	80字	160字	200字	202字	193字	191字

漢字には「音読み」「訓読み」があり、さらに「一日」を「ついたち」と読むような「特別の読み」があります。また「書き順」や漢字を構成する「部首」、熟語としての「意味」や「漢字の成り立ち」「漢字辞典の使い方」など学習すべき事柄が多くあります。国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋（らせん）的・反復的に繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを基本としています。そのため、漢字の学習においても、授業・家庭学習・学校生活など様々な機会を通して習得できるように工夫しています。



1年生
漢字を指書きして
教室に入りましょう。

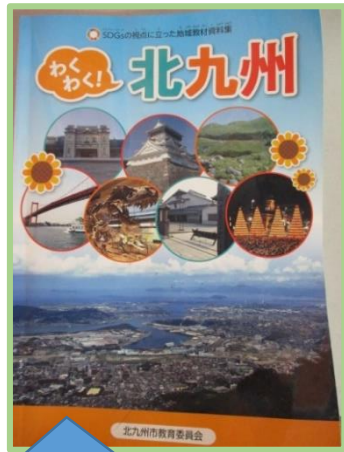


3年生
へんかつくりのたし算、
どんな漢字かな？



5年生
漢字のミニテスト
目指せ満点！

10月5日(水) 4年社会科 地域の先人に学ぶ



北九州市教育委員会発行
地域について学ぶ教材
「わくわく北九州」



現在の堀川の写真です。
その岩壁に残るのは
のみの跡です。

北九州市では、地域の地形・自然、歴史や産業などから学ぶ本市独自の地域教材「わくわく北九州」を発行しています。この教材を使って、今年4年生は遠賀川の治水に尽力した人々のことや「堀川」のことについて学んでいるところです。建設に使う大きな機械もない中、人々が何年もかけて取り組んだ一大事業。その背景にはどんな思いや願いがあったのでしょうか。

「堀川の工事が中断した後も、遠賀川が洪水をおこしたり、雨が降らなくて田んぼが干上がったたりして、人々は困りました。」と伝えると、Aさんが「前にやっていた川の工事を完成させたらいい。」と発言しました。そうだと、うなづく4年生。

先生は話を続けます。『やはり堀川の工事を完成させなければならない、128年前に中止したけれど、新しく始める工事の責任者を、ぜひお願いしたい。』とあなたが頼まれたら、引き受けますか？

すると、急にみんなが悩み始めました。そんな中、Bさんが手を挙げて、「ぼくは引き受けません。中止するくらい大変だったことが分かっているし、失敗するかもしれないから。」と言いました。何人もの4年生がうなづきました。

先生が写真を見せて言いました。「これが今の堀川の様子です。この写真があるということは、工事は成功したということです。櫛橋又之進さんは、栗山大膳さんの思いを128年後に引き継いだんだね。」

まちをより良くしていきたい、という先人の願いやそのための工夫・努力を学ぶ学習は、さらに続いていきます。

10月6日(木) 3年社会科 TOTO工場見学のとまとめ

TOTOミュージアム見学に行ったあとも、3年生はさらに興味を持ったことや疑問に思ったことについて話し合ったり、調べたりする学習を続けています。みんなにお知らせしたい気持ちが湧いてきたので、TOTOパンフレット作りを通して学習のまとめをしました。

全員分掲載したいところですが、代表で4名分をご紹介します。

紙面の関係上、内容が読みづらく申し訳ありません。

それぞれの児童が工夫している点を見ていただければ幸いです。

